

社協だより



第2期鷹栖町地域福祉実践計画 中間評価検証報告

抜粋版

令和2年4月から令和7年3月までの5年間、町民の願いである『いつまでもこのまち・地域に住み続けたい』を叶えるため、誰もがつながり、安心、健康で「幸せ」に暮らせる「あったかす」なまちを目指し、町民、NPO（非営利活動法人）、福祉団体、ボランティア、サポーター、民間団体、民間事業者、行政、社協が連携し、第2期鷹栖町地域福祉実践計画に記された行動指針に基づき取り組んで参りました。

計画推進から3年が経過したことから、17名で構成された評価委員会を立ち上げPDCAサイクルの手法を活用して6回に亘る話し合いを行い、評価検証が終わりましたのでご報告致します。

評価委員

選出区分	お名前	選出区分	お名前
社会福祉法人さつき会	谷 和仁	一般公募	藤田 友史
鷹栖町自立支援協議会	円山 慈子	一般公募	大内 義崇
社会福祉法人鷹栖共生会	鈴木 稔朗	鷹栖町役場	松本 宗平
NPO法人児童クラブなんたらカンタラ	今村 優人	鷹栖町社会福祉協議会	藤原 卓
鷹栖町民生委員児童委員協議会	武蔵 里美	鷹栖町社会福祉協議会	斉藤 功
ぽかぽかハートのつどい	中島 邦宏	鷹栖町社会福祉協議会	岩崎 良秋
福祉委員会	荒 肥立	鷹栖町社会福祉協議会	清水 敏彦
浅井医院	浅井 真一郎	鷹栖町社会福祉協議会	高橋 雄二
北星学園大学	畑 亮輔		

TAKASUプロジェクト

鷹栖町に住む全ての町民が

つながり

あんしん
安心して

けんこう
健康に
暮らせる
ように

あったかすで

しあわ
幸せ溢れる
まちづくりの

うんどう
運動が
まち全体に
広がるよう

取り組んでいます！

重点的に取り組んできたこと

01

人と人との繋がりを作り
孤立しない・させない地域づくり



02

生活福祉相談センターを核とする
頼れる相談支援体制づくり



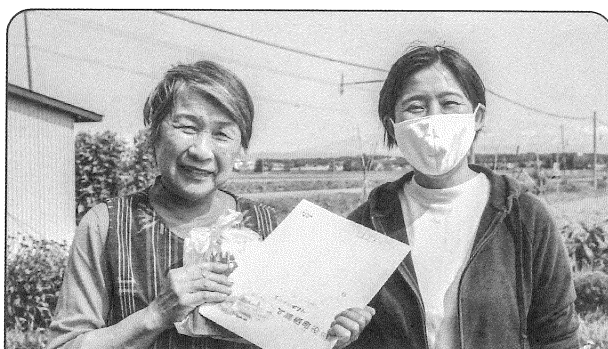
03

いくつになっても就労し
活躍できる生涯現役のまちづくり

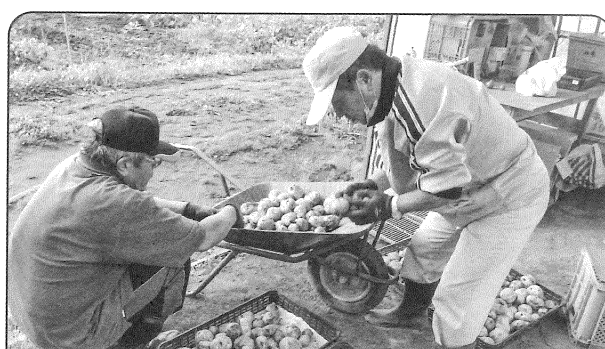


Ⅰ. 地域実践プロジェクト“T”(つながる) 進捗状況と今後への課題

今まで取り組んできたこと



コロナ禍で高齢者が閉じこもりがちになり、心配なことが増えてきたため、毎月1回訪問し安否確認とフレイル予防を行いました。



働くことに困り感を抱えている方の就労の練習の場としてほっとファーム（農園）を開設し、トマト・ジャガイモなどを育てました。



高齢者が少しでも長く車の運転ができるよう、交通安全教室を実施しました。



公民館活動と連携し、見守り活動の普及啓発、ヨガ体験・ボッチャなどの介護予防を融合し実施しました。

これから期待すること

- 各町内会ごとに、見守り活動を行いながら住民の孤立を防ぐ福祉委員を配置しているが、福祉委員だけで活動を展開している町内会では、福祉委員が疲弊したり引き受け手がないなどの問題が出始めており、町内会役員や班長を巻き込んだ体制づくりを進めている町内会を参考に、町内会ごとの見守り体制を構築して欲しい。
- 小・中学生から挨拶される場面はよく見かけるが、大人が自ら挨拶を交わす場面が少ないように感じるため、大人も積極的に挨拶を交わすようになって欲しい。
- コロナ禍で色々な事業やイベントが中止になっているが、少しずつでも人と人とが繋がるキッカケを作るためにコロナ禍に対応した事業のカタチを模索して欲しい。
- 赤い羽根共同募金運動が何のために募金活動を行い、何に使われているのかあまりわからないので、もっと周知活動を行って欲しい。
- 認知症に対する漠然とした不安が高齢者にある中で、学びやすい環境や学んだことを活かす場づくりが必要であり、今まででも取り組んではいるがもう少し工夫して欲しい。

Ⅱ．地域実践プロジェクト“A”(安心) 進捗状況と今後への課題

今まで取り組んできたこと



明日食べるものが無いなど、切迫した状況にある方に対し、食料品や灯油など生活必需品を支給しました。



社協だよりやSNS、福祉委員会だよりなど広報活動に力を入れ、1人でも多くの町民に情報が届くよう取り組みました。



町民を講師に招き、小学生を対象に日頃学校では学べないことを学べる「こども体験教室」を年2回実施してきました。



鷹栖高校の1・2年生を対象に、認知症サポーター養成講座や障がいについて理解を深めるなど福祉教育の推進を図りました。

これから期待すること

- 生活福祉相談センターの存在は少しずつ浸透してきたと感じるが、まだまだ相談するにはハードルが高いので、些細なことでも相談して大丈夫なんだと思えるような周知をして欲しい。
- 見守り活動を行っている方々が訪問先で住民の困りごとに気付くことが多いので、活動者に対する生活福祉相談センターの周知や、福祉サービスなどの勉強会を行って欲しい。
- 民生委員や福祉委員などの活動があまりわからないので、活動を知ることによって担い手につながる場合もあると感じており、周知活動に力を入れて欲しい。
- 情報収集はとても大切なことである一方で、広報紙のチラシ削減による案内の簡略化など高齢者にとっては情報収集し辛い環境に変化してきており、その対応策も検討し取り組んで欲しい。
- 防災に対する意識が低い中で、防災訓練の実施方法を変えもう少し参加しやすくしたり、行政主導による体制整備などを進めることで進展すると思うので積極的に取り組んで欲しい。

Ⅲ．地域実践プロジェクト“K”(健康) 進捗状況と今後への課題

今まで取り組んできたこと



いくつになっても働きたいという願いを叶えることができるまちづくりを進め、3年間で100名の高齢者が働きました。



ふまねっと教室やボッチャ教室など、住民主体で介護予防のために定期的に行っている教室のお手伝いをしました。



人と人が繋がるキッカケのひとつとして「おとな体験教室」を開催し、ロング海苔巻きを作りました。



町内でボランティア活動したいという相談を受け、町内会活動と連携しボランティア活動の場を創出しました。

これから期待すること

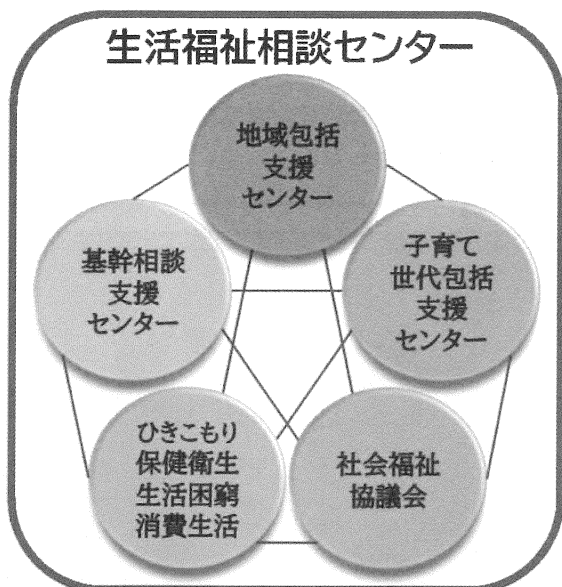
- 町内会で取り組んできたことを続けていくのが高齢化や人口減少により少しずつ難しくなってきた中で、地区公民館に集落支援員を配置するなど新たな活動を展開されるらしいので、町内会活動と地区公民館活動の連携による新しいカタチを期待している。
- 高年齢者がたくさん町内で働く姿を見かけるようになったので、是非とも高年齢者だけではなく様々な世代の就労支援に広げて欲しい
- ボッチャがかなり浸透してきているので、大会などを企画して欲しい。
- ボランティア活動が活発な町ではあるが、ボランティアという言葉自体が住民にとってなじみが薄いように感じたり、ボランティアという言葉を使うことで活動を始めることを躊躇する場面も見受けられるため、住民ニーズに合わせた機能への改革を進めて欲しい。
- 住民の特技を活かし活躍の場をつくる事業として就労は大成功だが、就労以外にも漬物や郷土料理、裁縫など個々の特技を活かした伝承の場などを作ると、もっと活躍の場が広がり元気な住民が増えると思うので、大変だとは思いますがそのような場をどんどん作って欲しい。

生活福祉相談センターをご活用ください！

鷹栖町にはサンホールはびねすに、さまざまな相談事を受け止める総合相談窓口があります。
どんな相談が寄せられているのでしょうか？

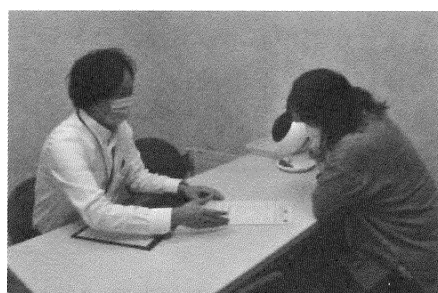
生活福祉相談センターって？

町民の皆さんが安心安全に暮らすことができるよう、様々な相談事を受け付けるための窓口として、平成26年5月に開設されたワンストップの相談窓口です♪
各相談窓口には専門の相談員(専門職)が配置されています！



このような内容の相談はコチラへ↓

- 地域包括支援センター
高齢者、予防支援、介護保険等…
- 基幹相談支援センター
障がい福祉、自立支援医療…
- 子育て世代包括支援センター
子どもの成長・発達、母子保健…
- ひきこもり・保健衛生・生活困窮・消費生活
心配ごと相談、自殺対策、法テラス…
- 社会福祉協議会
地域づくり、買い物支援、見守り…



お近くにお困りの方がおりましたら
生活福祉相談センターへおつなぎ下さい。

お問合せ先

サンホールはびねす
(鷹栖町健康福祉課)

☎0166-87-2112

メールでの
ご相談も可能です。

お問い合わせ
フォームは右の
QRコードより

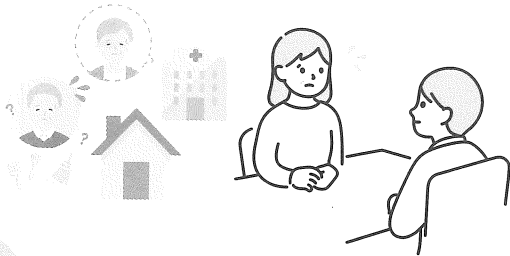


ひとりで悩まず、何か困ったらいつでもご相談下さい。

主な相談内容

親の介護で困っている

80代の夫婦で暮らす夫のAさんと妻のBさん。子どものCさんは遠方に住んでいます。家事全般を担っていた妻のBさんが突如入院することとなり、慌ててCさんが駆けつけ、Bさん不在中のAさんの生活を成り立たせるためにセンターに相談に来られました。



支援したこと

》 専門の機関へ繋ぐ

Cさんがこちらにいる限られた時間の中すぐに訪問。地域包括支援センターの職員が中心となり、介護申請や在宅福祉サービス、生活支援サービスを丁寧に説明しました。

在宅福祉サービスや生活支援サービス

- 配食サービス
- 緊急通報システム
- 安心住まい住宅補助
- 買い物支援事業 など



主な相談内容

ボランティア支援

部活で日頃からボランティア活動に取り組む高校生のDさん。コロナ禍でボランティア活動が減少してしまったので、地元の鷹栖町でゴミ拾いのボランティアがしたいと相談に来られました。



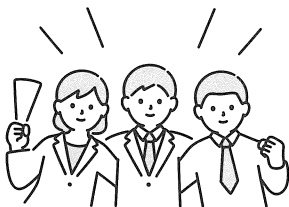
支援したこと

》 ボランティア活動ができる場をつくる

とある町内会に掛け合い、花壇の草取りの日に合わせてゴミ拾いをできるように調整。近隣の学校やボランティア団体も巻き込み、多世代が関わる事業となりました。



※相談内容は個人が特定されないように事実に基づき少し脚色しています。



お悩みによっては町の専門機関だけではなく、旭川市に拠点を構える相談センターにも繋がることがあります。また、緊急性を伴う場合に即時対応できるようサポート体制（貸付事業や現物給付など）を構築しております。

《ご寄付》



ありがとうございます

〈 香典返しご寄付 〉

佐藤 愛子 さん	樋口 邦子 さん	出口 庄司 さん
川合 敏子 さん	奥山 雄一 さん	稲田 敏彦 さん
渋谷 玲子 さん	高橋 雄二 さん	

令和5年2月21日

～令和5年4月15日

〈 社会福祉事業へのご寄付 〉

照鷹会 さん

あたたかいご寄付をありがとうございました。

みなさまの善意の浄財は社会福祉事業に活用させていただきます。改めて厚く御礼申し上げます。

一お知らせ一

令和5年3月31日をもちまして、会葬礼状の作成及び印刷業務を終了致しました。システムの入替等により作成が困難になったためではありますが、今後、葬儀にてご利用されます葬儀会社等にご相談いただきたく、ご迷惑をおかけしますが何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第11回／ 編集室の つぶやき

カもえちゃんは社協って聞いてイメージすることかある？

もうちの町(中富良野町)にもいるけど普段関わるのがなくて、何をしているのか鷹栖で知ったというか。高齢者や子ども向けの取り組みだったり、補助？助成金？みたいなイメージがあります

カなるほどー実は、私は社協だより作る前はあまりイメージすることがなかった(笑)

の普段あまり情報も見ないよね。働き世代の関わりが少なく感じるからこそ、うちらが社協だよりを作らせてもらっている意味もあるのかなと思って、もやっぱり広い世代の人が関わっている方がいいですね

カうんうん
の今回から入ってくれたもえちゃんは鷹栖に住んでないからさ、外の視点とかもいれられるのが楽しみだな
カそうね！

もかといってソトソトしすぎないように、鷹栖の中にもどろん入っている取材を通して少しずつ社協のことを

身近に感じられるし、実はいろんな世代の人の生活に身近な取り組みもたくさんあって

も色々な取り組みがあるんだって、過去の社協だよりを読んでそう思いました！

カのぞみちゃんも私も社協のことだいぶわかってきたよね

の私はまだちょっとわかってきたぐらいかなと思うよ！

カそうなん？
のはびねずに足を運ぶからこそわかる情報とかもあるし

カたしかに。日々の取り組みもそうやし、紙面づくりを通して毎年新たな発見がある！

のそしてこうやって、社協だよりを通じて、他の町村の人ともつながりができるのはうれしいね

カそうやね！体制かわりましたけど、新年度の意気込みとかある？

の頑張る
カ何を(笑)

今年度はスケジュールを共有してもらったから、細かいところまで取材していきたいな。私たちの企画号もあるし、以前コラムで話していた、できることを増やしていきたいな、の第一歩かな。楽しみ！

カ少しずつステップアップしてて、楽しみよね！もえちゃんは？
も手に取りやすい、読んで楽しい、

親しみを持ってもらえる紙面を作りたいです

カいいですねー

のいままでのデザインに似せなきゃって思わなくていいし、もえちゃんらしい紙面づくりをしてくれたらいいかな
もわかりました！あまりとらわれずに作ってみます！

の社協の人たちも、読み手を意識しないこと以外だったら、新しいことでもいいねって言うってくれるから、大丈夫よ。あとは、鷹栖にもどろん来てほしいな

もまた遊びに行きます！
のカツオは？

カ新年度はライティングが増えるから、若い人にも読みやすく・・・
の活字難しい！

カっていう人にも読みやすい文章を心がけたいと思います！

新体制！よろしくお願いします♪



〈の…のぞみ・カ…かつお・も…もえ〉＝社協だより誌面の作成をしています

みんなの
笑顔だより

美味しいラーメンを
用意してお待ちしております！

『ヘイワダイナマイト』スタッフの皆さん

